

2025年度 第1回修学旅行研究会に出席

(ブランディング)

5月8日（木）、都内で開催された「2025年度第1回修学旅行研究会」に出席しました。研究会では、事務局から昨年度の活動実績と今年度の活動予定について説明があり、出席者からは昨年度の振り返りと今年度の活動目標について報告がありました。

当機構からは、昨年度の振り返りとして、2025年3月に神奈川県、千葉県、埼玉県の旅行会社に対して実施したセールスについて報告するとともに、今年度の活動として、旅行会社へのセールスの継続、本研究会等を通じた情報収集、当機構で発行している教育旅行向け観光コンテンツ冊子の改訂・増刷を予定していることを報告しました。

（開催日）2025年5月8日（木）（開催場所）靖国九段南ビル（東京都千代田区）

（参加者）（公財）全国修学旅行研究協会、学識経験者、自治体、観光協会、DMO、
日本航空（株）、全日本空輸（株）

（機構参加者）松本チームマネジャー、井上マネジャー

広域連携DMO政策研究会に出席

(ブランディング)

5月16日（金）、都内で観光庁と日本政府観光局（JNTO）も参加のもと、全国の広域連携DMO10団体が集まって開催された「広域連携DMO政策研究会」に出席しました。

会議では、各DMOから今年度の取り組み等についての報告や、それぞれが直面する問題について活発に意見が交換されたほか、観光庁とJNTOからは、2025年度以降の方向性や観光業界を取り巻く課題について、説明がありました。

当機構では、引き続き、観光庁、JNTO及び全国の広域連携DMOと協力して、四国への誘客促進に取り組んでまいります。

（開催日時）2025年5月16日（金）14:00～17:30

（開催場所）観光庁国際会議室（東京都）

（機構参加者）桑村本部長、伊藤統括副本部長



<会議の様子>

Greater WEST JAPAN連携会議を開催

(ブランディング)

5月23日（金）、西日本の広域連携DMO4団体（（一財）関西観光本部、（一社）山陰インバウンド機構、（一社）せとうち観光推進機構、当機構）が集まり、「Greater WEST JAPAN連携会議」を開催しました。本会議は各DMOの持ち回りで開催しており、今年度最初の会議は、大阪市での開催となりました。

会議では、まず、連携協定（2023年5月締結）で掲げたセールス・プロモーションの共同展開として、海外旅行博を活用した情報発信と誘客プロモーションについて検討を進め、具体的には、例年2月上旬に豪州で開催している「Japan Road Show」に共同出展することを再確認し、開催都市がシドニーとなることを前提に、各DMO1ブースの計4ブースで共同出展してセールスコールを実施する方向で準備を進めることを決定しました。

次ページに続く

また、関西のホテルコンシェルジュを活用した地方誘客の可能性を探るため、現地の関西観光本部以外の3DMOで実施したセールス活動の報告のほか、共通LP（「Greater WEST JAPAN」）の改修内容について意見交換を行いました。

4DMOでは、引き続き、大阪・関西万博の開催をフックとした「旅ナカ」「旅アト」プロモーションを関係団体とも協力して推進するとともに、大阪・関西万博の閉幕以降も、西日本、そして四国を周遊していただけるよう、連携協定に基づく取り組みを継続いたします。

（開催日時）2025年5月23日（金）15:00～17:30

（開催場所）関西観光本部（大阪府大阪市）

（機構参加者）桑村本部長、伊藤統括副本部長
神野副本部長、清水CMO



<会議の様子>

Setouchi Vélo協議会 構成団体担当者ミーティングに出席

（ブランディング）

5月28日（水）、兵庫県神戸市で開催された「Setouchi Vélo協議会 構成団体担当者ミーティング」に出席しました。本協議会は「瀬戸内地域やその周辺地域を、環境に配慮した、安全で快適な、世界にも認められる『サイクリングの推進エリア』にしたい。」という想いのもと、構成団体23団体、参加団体59団体の82団体から構成される協議会（事務局：中国地方整備局、四国地方整備局、本州四国連絡高速道路（株））です。

ミーティングでは、事務局から活動実績、2025年度の活動計画などが報告されるとともに、議題として、「Setouchi Véloスポット」※1、「シェア・ザ・ロード」※2、協議会の情報発信施策などについて、活発な意見交換がなされました。

意見交換のなかでは、自転車のヘルメット着用の努力義務化に対し、正しい被り方が周知されていないという課題について、Setouchi VéloのHPで動画で啓発するなど、取り組み方法について意見が出ました。また、2027年度に愛媛県で開催される「Velo-city（自転車国際会議）2027」※3に向けて、協議会としての関わり方についても議論されました。

引き続き、協議会の一員として、構成団体との意見交換や情報発信に努めてまいります。

（開催日）2025年5月28日（水）

（開催場所）本州四国連絡高速道路（株）（兵庫県神戸市）

（機構参加者）井上マネジャー、三好マネジャー

※1 サイクリストを支援、応援するスポットとして当協議会のHP上のデジタルマップに掲載。

登録施設・店舗は随時募集中です。（2025年5月時点で約600スポット掲載）

※2 歩行者、自転車、自動車がお互いの立場を思いやる気持ちを基本として、道路を安全・快適に共有すること。

※3 自転車に関する学術会議として、自転車政策決定者、実務者、研究者・有識者、愛好家などが集まり、観光、安全利用、都市計画など様々な議題について議論する会議。今後の開催地は、2025年 ポーランド、2026年 イタリアを予定。

開催地決定にあたってのプレスリリース（愛媛県）は右記二次元コードからご覧いただけます。

スポット募集の
案内はこちら



愛媛県
プレスリリース
はこちら



『観光データ』『CMOの役割』『これからの観光政策』を学べる合宿に参加

(ブランディング)

5月28日(水)、29日(木)の2日間、京都府京都市で開催された『観光データ』『CMOの役割』『これからの観光政策』を学べる合宿に参加しました。この合宿は、リージョナリング(株)と京都市観光協会が運営しているもので、今回は全国のDMOからCMO7名、観光庁で登録されている専門人材など10名の計17名が参加しました。

第一部では、観光庁の先駆的DMOに選定された京都市観光協会のCMO 堀江 卓矢氏による京都市の取り組みに関する事例紹介があり、第二部では、グループに分かれてワークショップを行いました。ワークショップでは、データ活用の重要性・課題、具体的なデータ活用事例、KPI設定の難しさなどについて、参加者間で活発な議論が行われました。

合宿では、参加者から当機構が運営するDMPについてご意見をいただくことができたため、会員の皆さまにより活用いただけるDMPとなるよう改善に活かしてまいります。

(開催日) 2025年5月28日(水)、29日(木)

(開催場所) 放我庵、(株)ディアライブ会議室(京都府京都市)

(登壇者) 京都市観光協会 CMO 堀江 卓矢氏

(参加者) 愛媛県観光国際課

(一社) せとうち観光推進機構ほか全12団体、17名

(機構参加者) 清水CMO



<合宿の様子①>

【当機構DMPのご案内】

当機構DMPについて、会員の皆さまは無料でご利用いただけます。[こちら](#)または右記二次元コードからご利用ください。なお、ご利用の際のユーザー名及びパスワードは、既にご案内しておりますものをご利用ください。ご不明の場合は、別途お問合せください。



<合宿の様子②>

2025年度 JR四国商品説明会に参加

(マーケティング)

5月19日(月)、関西圏の旅行会社を対象に下期の鉄道旅行商品造成を目的に、JR四国が開催した「2025年度 JR四国商品説明会」に参加しました。

説明会では、四国への誘客に向けた商品造成につなげていただくべく、JR四国、四国4県、松山市、当機構の7団体から、四国の旬の観光素材や企画、鉄道旅行の魅力を発信するプレゼンテーションを行いました。

説明会の後に開催された意見交換会では、JR四国が取り組む「四国家のお宝」で取り上げられた、さぬき市の和三盆と日高村のシュガートマトの試食ブースが設置されるなど、四国の魅力に触れていただきながら、旅行会社の皆さまと活発な意見交換ができた会となりました。

(開催日時) 2025年5月19日(月) 15:30～19:00

(開催場所) ホテルグランヴィア大阪(大阪府大阪市)

(参加者) 関西の旅行会社、地元関係者等

(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長、別宮マネジャー



<説明会の様子②>

米国旅行雑誌「トラベル+レジャー」から取材を受けました

(マーケティング)

5月14日(水)から21日(水)までの8日間の行程で、JNTOニューヨーク事務所の紹介により、米国の旅行雑誌「トラベル+レジャー(Travel+Leisure)」から「四国特集」として取材をいただきました。

取材では同誌の記者1名が、東京からサンライズ瀬戸を利用して四国にお越しになり、香川県(高松市(屋島、男木島、女木島、牟礼地域など)、善通寺市、琴平町)、徳島県(美馬市、三好市)、高知県(高知市(高知城、ひろめ市場など)、梼原町)の各地を取材いただきました。

取材にあたっては、関係団体の皆さまにご協力いただきましたおかげで、四国を満喫して取材いただくことができました。今回の取材内容は、2026年4月発行号で掲載されることと伺っております。掲載されましたら、改めてご案内させていただきます。

(取材日時) 2025年5月14日(水)～21日(水)

(連携協力先) 香川県、高知県、(一社) その郷

(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー



<取材の様子①(屋島山頂)>



<取材の様子②(祖谷のかずら橋)>

2024年度「欧米豪旅行者向け動向調査」事業に関する報告会を実施

(マーケティング)

5月22日(木)、香川県高松市で「2024年度『欧米豪旅行者向け動向調査』事業に関する報告会」を実施しました。同調査は、欧米豪からの旅行者がどのようなきっかけや目的で四国に訪れたのか、どのようなルートや交通手段で四国を含む日本を旅行しているのか等、その動向や特徴を把握するために、2024年9月21日(土)から10月26日(土)の期間、対面アンケート方式により実施したものです。

報告会では、同調査の共同実施者である(株)日本政策投資銀行の藤岡 亜希子 副調査役から、分析結果について報告いただきました。報告では、欧米豪からの旅行者の9割以上が四国を訪れるのは初めてであると回答しており、西日本の周遊を主な目的とする旅行者が多いことや、四国遍路や直島等を体験・訪問することで、滞在日数の長期化および消費額の増加につながっていることから、関西や中国地方など他地域との連携やテーマ性のあるコンテンツ間の連携が重要という調査結果と分析の説明がありました。

当機構では、欧米豪からの四国への旅行者の動向を経年で把握し、継続的に調査・分析を行うことがインバウンド戦略の策定に不可欠であると考えており、引き続き、2025年度も同調査を実施してまいります。

(実施日時) 2025年5月22日(木) 13:30～15:00

(実施場所) あなぶきアリーナ香川 メインアリーナ 第2会議室

(香川県高松市)

(参加者数) 119名 ※オンライン参加者含む

(報告者) (株)日本政策投資銀行 四国支店 企画調査課 副調査役 藤岡 亜希子 氏

(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長、伊藤統括副本部長 ほか9名



<報告会の様子①>



<報告会の様子②>

「四国インフォメーションデスク2024年度事業」に関する実績報告会を開催

(マーケティング)

5月22日(木)、香川県高松市で「『四国インフォメーションデスク 2024年度事業』に関する実績報告会」を実施しました。当機構では、外国人旅行者からの四国旅行に関する問い合わせに対して英語で回答するための「四国インフォメーションデスク」を2020年度から設置しています。

報告会では、運営を委託している(株)englishbiz 代表取締役 グルネウォルド マーク 氏と同社取締役 グルネウォルド 和世 氏から2024年度の対応状況などについて報告いただきました。報告では、インバウンド需要が高まる中、外国人旅行者からの問い合わせ内容も多岐に亘ってきているとの報告があり、外国人旅行者の四国に対する興味関心、疑問や傾向といった定量・定性データに加え、各地域・コンテンツの問い合わせフォーム、セキュリティの対策など、問い合わせへの対応策についてご提案いただきました。

当機構では、引き続き、「四国インフォメーションデスク」の設置を通じて、外国人旅行者からの問い合わせに対応するとともに、旅行者のニーズを把握・分析して、改善策の検討と施策の策定に役立ててまいります。



<報告会の様子>

(実施日時) 2025年5月22日(木) 15:30～17:00

(実施場所) あなぶきアリーナ香川 メインホール 第2会議室

(参加者数) 95名 ※オンライン参加者含む

(報告者) (株)englishbiz 代表取締役 グルネウォルド マーク 氏
取締役 グルネウォルド 和世 氏

(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長、伊藤統括副本部長ほか9名

「MOTTAINAI OSEKKAI (「もったいない」のお節介) 共創プロジェクト」報告会に出席

(その他)

5月15日(木)、4月に大阪・関西万博のステージイベントで実施された「TEAM EXPOパビリオン MOTTAINAI OSEKKAI (「もったいない」のお節介) 共創プロジェクト」の報告会に出席しました。同プロジェクトでは、株式会社レモリフが主体となり、リユース事業として、不要品のリユースを促進してカーボンニュートラルやSDGsに貢献するビジネスモデルを構築しながら、観光事業として、モビリティを活用した地域観光の活性化を目指して各種取り組みを行っています。

報告会では、大阪・関西万博での実施内容の報告と、参加者の交流会が行われました。



<報告会の様子>

(開催日) 2025年5月15日(木)

(開催場所) KANEMITSU CAPITAL HOTEL (香川県高松市)

(参加者) (株)レモリフ、トヨタカローラ香川(株)

三井住友海上火災保険(株)、Future(株)など

(機構出席者) 桑村本部長、清水CMO



<交流会の様子>

「せとうち島旅フェス2025 ~アートと学びの島々~」に参加

(その他)

5月17日(土)、18日(日)の2日間、香川県坂出市などで、本州四国連絡高速道路(株)が開催する「せとうち島旅フェス2025 ~アートと学びの島々~」に参加しました。同イベントは、瀬戸内の島々の魅力発信を目的に、2022年度から年に1回、与島パーキングエリアで開催しているもので、今年で4回目の開催となりました。

今年は、瀬戸内の島々の魅力について語るラジオ「島旅放送局」、瀬戸内のグルメやSDGs体験が楽しめる「せとうちマルシェ」、瀬戸大橋の橋台・アンカレイジの中を見学するアンカレイジツアーや瀬戸大橋塔頂体験スカイツアー、そして近隣の島々の方にご協力いただき、与島から本島、讃岐広島(香川県丸亀市)をつなぐ「島旅クルーズ」を実施しました。

また、香川県のこども図書館船「ほんのもり号」や坂出海上保安署の巡視船、香川県漁業指導船、済生会病院の診療船・済生丸が与島港に集まる「はたらく船展」を同時開催し、多くの方が楽しんでいました。



<せとうちマルシェの様子>



<本島サテライト会場のイベントの様子>

(開催日) 2025年5月17日(土)、18日(日)

(開催場所) 本会場: 与島PA(香川県坂出市)

サテライト会場: 本島、讃岐広島(香川県丸亀市)

(機構参加者) 三好マネジャー

「四国家のお宝」連携会議に出席

(その他)

5月29日(木)、香川県さぬき市で開催された「四国家のお宝」連携会議に出席しました。本会議では、2024年度に実施した「四国家のお宝」でのアンケート結果や、少人数高単価やお宝素材を活用した商品開発などの特色ある取り組みの報告、今後の展望についてのディスカッションなどが行われました。

今後の展望として、昨年度までは、四国に存在する地域・文化資源を地域と共に磨き上げる取り組みを通じて、四国の拠点観光地からの面的な誘客や鉄道利用促進を狙いとしていましたが、今後は、鉄道利用促進にこだわらない地域の魅力向上に注力し、四国の活性化に繋がる取り組みとなるように実施していく旨が発表されました。

その後の意見交換会では、今後の観光振興に向けた交流が行われ、四国における地域の魅力発信と連携強化に向けた貴重な会議となりました。



<会議の様子>



<意見交換会の様子>

(開催日) 2025年5月29日(木)

(開催場所) さぬき市役所(香川県さぬき市)

(機構参加者) 桑村本部長、別宮マネジャー

日本旅館協会 四国支部連合会 令和7年度通常総会に参加

(その他)

5月27日（火）、高知県高知市で開催された「日本旅館協会 四国支部連合会 令和7年度通常総会・懇親会」に参加しました。今回の通常総会では、四国支部連合会会長が（有）大和屋本店の 奥村 敏仁 氏から鳴門レジャーランド（株）の 芝野 光 氏に引き継がれました。

四国への宿泊客誘客を目指して、引き続き、当機構も連携していきます。

（開催日）2025年5月27日（火）
（開催場所）城西館（高知県高知市）
（来賓）四国運輸局 河野 順 氏
（機構参加者）桑村本部長



<挨拶：芝野 新会長>



<来賓：河野 四国運輸局長>

徳島文理大学高松駅キャンパスで代表理事が講演

(その他)

5月28日（水）、今春開学の徳島文理大学高松駅キャンパスで開講された公開講座「地域経営論」で、当機構の半井代表理事が「四国発サステナブルツーリズム」と題して、講演を行いました。

講演では、当機構の取り組みや四国遍路の維持・継承、JR四国の観光列車『ものがたり列車』誕生物語について講話し、講演終了後に学生との意見交換が活発に行われました。

（開催日時）2025年5月28日（水）13:10～14:40
（開催場所）徳島文理大学高松駅キャンパス（香川県高松市）
（機構参加者）半井代表理事 ※講演者として
神野副本部長、流マネジャー



<学生との意見交換の様子>

今月のOWNドメディア情報等

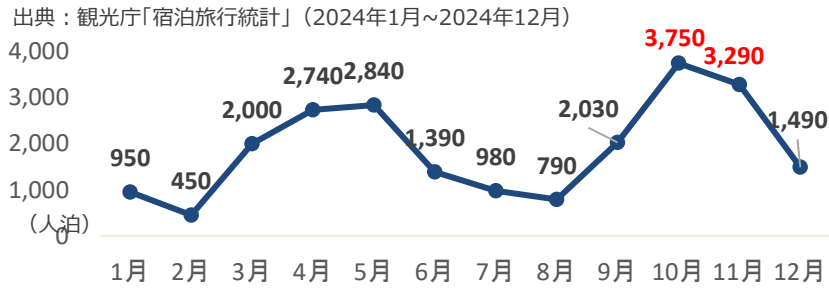
(清水CMOからの情報)

昨年12月から、各インバウンド市場の概況を紹介しておりますが、今回は一人あたりの旅行消費額が平均382,089円^(※)とJNTO対象国で1位であるオーストラリア市場についてその概況をご紹介します。

※インバウンド消費動向調査（2025年1-3月期集計表）



【オーストラリアからの四国述べ宿泊者数（月別）】



【オーストラリア～日本の直行便数】

当機構調べ（2025年5月27日時点）

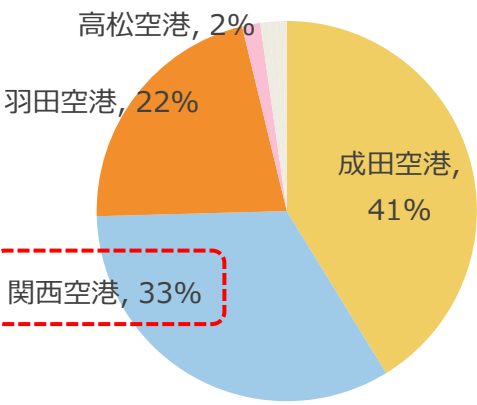
空港	便数
羽田空港	35便
関西空港	11便
成田空港	34便

他の欧米諸国に比べ、四国近隣の関西空港の直行便が多い。

【オーストラリアの主な祝日及び休暇（一部）】

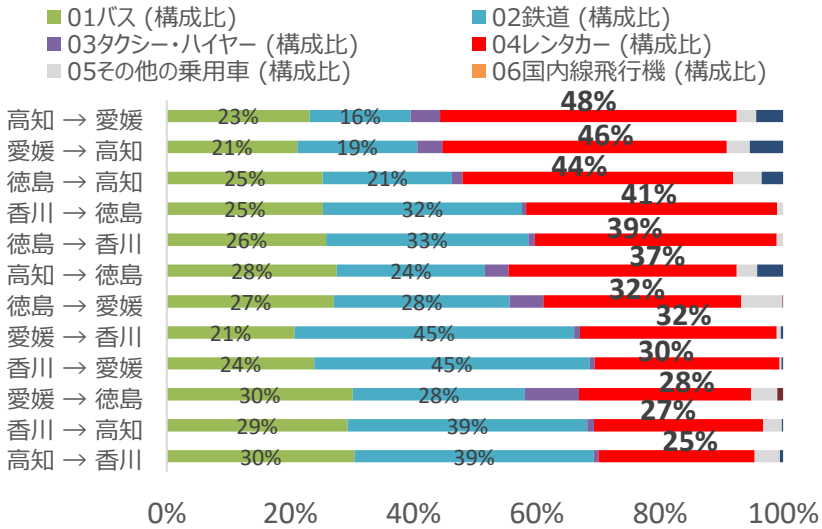
有給休暇	毎年4週間（20日間）の有給年次休暇が保証されている。 ピークは明確に夏季（12月～1月）に集中。
学校の長期休暇	4月上旬からの約17日間、6月下旬～7月中下旬の約16日間、 9月中下旬～10月中旬の約16日間、12月中旬～1月下旬の約45日間（6～18歳） ※訪日教育旅行の実施時期は、9月の休みに合わせるが多い。

【四国旅行者の入国港】



出典：観光庁「FF-Data（訪日外国人流動データ）」
（2018年2019年及び2022年）
※当機構DMPを利用して作成

【四国旅行者の四国内交通手段】



- ・「訪日外国人流動データ（FF-Data）」によると、四国への旅行者は、成田空港からの来訪が最も多く、関西空港などの近隣空港からの来訪も見られます。
- ・四国内の県間移動の手段は、バス、鉄道、レンタカーの利用が多い。
- ・当機構の[レンタカーに関するランディングページ](#)（英語・繁体字）の国別閲覧ランキングは、シンガポール・香港・台湾に次ぎ、**オーストラリア**が4位となっており、その利用ニーズもうかがえます。

【データから見えるニーズ】

順位	国名	1人1日あたりの旅行消費額	順位	国名	1人1回あたりの旅行消費額
1	香港	39,853円	1	オーストラリア	382,089円
2	中国	39,008円	2	フランス	359,300円
3	シンガポール	37,856円	3	カナダ	355,302円
4	タイ	35,799円	4	ドイツ	350,498円
5	台湾	34,589円	5	イタリア	330,622円

<旅行者について>

- 観光庁「インバウンド消費動向調査（2025年1-3月期集計表）」によると、1人1回あたりの旅行消費額は、22市場の平均が221,285円であるのに対し、オーストラリアでは382,089円と高く、国別ではトップとなっています。
- また、平均泊数も**13.6泊**と、全市場平均の6.9泊を大きく上回っています。
- 一方、1日あたりの旅行消費単価は、**28,175円**（10位）となり、全市場平均の31,992円を下回る結果となっています。
- 当機構のDMPで「インバウンド消費動向調査個票データ（2025年4-12月）」を分析すると、四国を訪問したオーストラリア人の平均泊数は**1.8泊**と東京都の4.6泊や京都府の3.2泊を下回っていることが分かりました。また、娯楽サービスに費やす金額も**37,138円**と全市場でトップではありますが、その内訳はスキーに対する支出が高くなっています。このことから北海道などの雪国が競合観光地となることが伺えます。
- JNTOによると、同市場では中山道や熊野古道を歩くパッケージツアーなどが人気であるとのこと。このことから、四国においては、「**四国遍路**」や「**ハイキング**」などを中心に訴求することで、同市場で関心の高い**健康志向層**に訴求することができるとともに、滞在日数の増加も期待できます。
- また、旅行形態については、「個人で旅行を手配：56.1%」、「**個人旅行者用のパッケージツアーを利用：12.8%**」、「**個人旅行として旅行会社などを通じて手配：24.1%**」、「団体旅行を利用：7.0%」となっており（JNTO「22市場基礎調査2021年」）、個人旅行化が進んでいるといえます。

<旅行会社の販売状況>

JNTOのレポートによると、オーストラリアの旅行業関係者は、保有する日本の観光地情報が少ないとの記述がありますが、シドニーに事務所を有する旅行会社を数社調べただけでも、四国に関するツアーが販売されていることが確認できました。参考に、今回確認できた特徴的なツアーを紹介します。

- ・ [愛媛・瀬戸内探訪 - 13日間](#)（大阪、別府、**大洲**、**松山**、**高松**、大阪）
- ・ [瀬戸内国際芸術祭ツアー](#)（岡山、**豊島**、**直島**、**高松**、**男木島**、**女木島**、**小豆島**、神戸）
- ・ [2025年大阪万博開催記念ツアー](#)（東京、富士山、京都、大阪、広島、**しまなみ海道**、**祖谷**、**高松**、神戸、大阪）

【ニーズから考えられる誘客案】

ステップ① 旅行会社への営業活動

ファムトリップ・セールス・商談会などを通し、「個人旅行者用のパッケージツアーを利用：12.8%」に向けた情報提供を行い、四国のパッケージツアーを増加させ、旅行商品の流通量を増やす。

ステップ② 旅行会社経由で個人旅行者にアプローチ

旅行会社に浸透したパッケージツアーから、「個人旅行として旅行会社などを通じて手配：24.1%」の個人旅行者層を狙う。

当機構では、オーストラリアを含む[海外旅行会社](#)や[メディアへのメールマガジン](#)やファムトリップ・商談会・海外旅行博等を通して、引き続き、四国の情報発信に尽力してまいります。

代表理事の主な動静

- 5月 8日（木）定例会議・推進会議（当機構の会議）
 22日（木）定例会議・推進会議（当機構の会議）
 「欧米豪旅行者向け動向調査」事業に関する報告会
 「四国インフォメーションデスク2024年度事業」に関する実績報告会
 28日（水）徳島文理大学 公開講座「地域経営論」講演

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日（火） ～2026年3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html
デジタルスタンプラリー「四国巡りんく」	本州四国連絡高速道路（株）	2025年5月1日（木） ～12月31日（水）	7月中旬予定
「四国コンテンツ映像フェスタ2025」	四国総合通信局	2025年6月6日（金） ～12月（予定）	未定

6月以降の主な予定表

区分	6月	7月	8月	9月	10月	11月
マーケティング（国内）	JAL麗らか四国キャンペーン2025（4月～10月） ● 四国ブロック観光情報交換会（6月17日/東京）			● ツーリズムEXPO（9月25～28日/愛知）	● 四国観光商談会（10月6日/東京） ● 四国観光商談会（10月16日/大阪）	
マーケティング（国際）		● 台湾商談会（7月8日/台湾）	● ANA誘遊四国キャンペーン豪州FAMツアー（7月24～30日/四国4県）	● VJTM（9月25～27日/愛知）		
ブランディング	● 四国「持続可能な観光」推進ネットワーク会議（6月19日/高松市） ● 2025年度事業計画等記者発表（6月16日/高松市）	● GSTCサステナブルツーリズム研修（7月3～5日/丸亀市）	● 第1回意見交換会（8月21日/高知市） ● 第1回ジオツーリズムセミナー（8月26日/高松市）	● Greater WEST JAPAN 連携会議（8月22日/高知市）	● 第2回ジオツーリズムセミナー（11月11日/高松市）	●

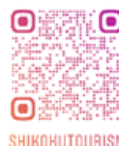
（一社）四国ツーリズム創造機構

事業推進本部 ブランディングチーム 神野、藤井

TEL：087-813-0431 FAX：087-813-0312

Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>

Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/?hl=ia>



SHIKOKUTOURISM